大館市教育委員会会議録

日　時　令和８年７月２９日（水）
　　午後３時３０分
場　所　駅なか交流センター
　　会議室２

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1　開会の日時及び場所	日　時	令和８年７月２９日（水）　午後３時３０分	
	場　所	駅なか交流センター　会議室２	
2　出席委員の氏名			
教育長職務代理者	山　田　和　人	委　員	工　藤　啓　子
委　員	小笠原　正　卓		
3　欠席委員の氏名			
委　員	真　田　かずみ		
4　委員以外の出席者職氏名	（なし）		
5　出席した職員の職氏名			
教育長	長　岐　公　二	学校教育課主幹	千　葉　彦　希
教育次長	阿　部　精　範	生涯学習課長補佐	佐　藤　正　平
教育監	野　呂　謙　一	中央公民館長	羽　沢　秀　則
教育総務課長	北　林　香　子	歴史文化課長補佐	鳥　潟　幸　男
学校教育課長	鈴　木　　明	教育総務課総務係	三　浦　伸　介
教育研究所長	中　嶋　舞衣子		
生涯学習課長	畠　山　慶　子		
歴史文化課長	関　　智　仁		
教育総務課長補佐	山　本　　司		

6　会議録署名委員　　教育長・小笠原委員

7　会　議　書　記　　教育総務課　総務係長　三浦　伸介

8　教育長報告

（１）	大館市教職員「夏季研修会」及び「ＩＣＴ活用研修講座」について
（２）	大館市生涯学習推進協議会委員の委嘱について
（３）	令和７年度大館市民文化会館の指定管理者業務に関する評価について
（４）	令和７年度大館市立図書館サービスに関する評価について
（５）	大学公開講座の開催について
（６）	ラジオ体操会「みんな元気にラジオ体操ワンツー・ワンツー！」について

9　議　事

協議第13号	大館市招致外国青年の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
協議第14号	令和８年度９月補正歳出予算要求の概要について

10　その他

事故報告（６・７月分）

次回　　８月２１日（金）　長木公民館　　第１・第２研修室

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年７月２９日　　担当課（教育研究所）

報　告　事　項	報　　告　　内　　容
大館市教職員「夏季研修会」及び「ＩＣＴ活用研修講座」について	大館市教職員の「夏季研修会」及び「ＩＣＴ活用研修講座」を次のとおり実施し、２２０名の教職員、教育関係者が参加する予定。 １　開催期日 令和８年８月４日（火） １時限目　　８：３０～１０：００ ２時限目　１０：２０～１１：５０ ３時限目　１３：３０～１５：００ ４時限目　１５：２０～１６：２０ ２　開催場所 東北能開大学秋田校（秋田職業能力開発短期大学校） ３　研修講座 研修講座は１４講座あり、各時限の講座から１つを選択。１人２講座以上選択可能。 ４　講座内容 実施要項を参照。

令和8年度　大館市教職員「夏季研修会」「ICT活用研修講座」実施要項

1　期日　　令和8年8月4日（火）〔午前の部〕 8:30～11:50〔午後の部〕 13:30～16:20

2　場所　　東北能開大学秋田校（秋田職業能力開発短期大学校）

3　講座内容　　★ **水分補給を適切に行うなど、体調管理に御留意ください**

◎午前の部　　★ **欠席される場合は、速やかに教育研究所（当日は学校教育課）に連絡してください**



教育研究所
0186-43-7114
学校教育課
0186-43-7112

1時限目　　8:30～10:00		会場／携行品等
【研修講座1】 講話	□就学前教育・学校教育・生徒指導・特別支援教育・不登校支援 **不登校と問題行動を解決するために ～愛着（アタッチメント）の形成と愛着障害について～** 大館市教育委員会　適応指導教室おおとり教室　山崎　悟　指導員	**2F　207　多目的ホール** ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座2】 講話・演習	■ICT活用研修講座 **電子黒板「ミライタッチ」の利活用** さつき株式会社	**1F　108　会議室** ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座3】 講話・演習	■ICT活用研修講座 **タブレットの利活用紹介 学習eポータルサイト「L-Gate」＆ネットモラル** 東光コンピュータ・サービス株式会社	**2F　201　多目的教室** ■教師用タブレット（フル充電な状態） ■筆記用具（感想用紙の記入があります）

2時限目　　10:20～11:50		会場／携行品等
【研修講座4】 講話・演習	■ICT活用研修講座 **実録！「私たちはこれで教材準備の時間を大幅削減しました」 eライブラリを活用した教材づくり** ラインズ株式会社	**2F　221　CAD室** ■教師用タブレット（フル充電な状態） ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座5】 講話・演習	■ICT活用研修講座 **電子黒板「ミライタッチ」の利活用** さつき株式会社	**1F　108　会議室** ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座6】 講話・演習	◆防災教育 **大館市の防災** 大館市役所　危機管理課　　防災アドバイザー　山本　博司　氏	**2F　207　多目的ホール** ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座7】 講話・演習	◆学習指導・就学前教育 **低学年向け運動遊びプログラム「MISPO！」** ミズノ株式会社　森下 聖二　氏	**1F　532　体育館** ■運動に適した服装 ■運動に適した上履き ■筆記用具（感想用紙の記入があります）

◎午後の部

3時限目　13:30～15:00		会場／携行品等
【研修講座8】 講話・演習	■ICT活用研修講座 **タブレットの利活用紹介 学習eポータルサイト「L-Gate」＆ネットモラル** 東光コンピュータ・サービス株式会社	**2F　201　多目的教室** ■教師用タブレット（フル充電な状態） ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座9】 講話・演習	■ICT活用研修講座 **実録！「私たちはこれで教材準備の時間を大幅削減しました」 eライブラリを活用した教材づくり** ラインズ株式会社	**2F　221　CAD室** ■教師用タブレット（フル充電な状態） ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座10】 講話	●特別講座 **ものづくり現場の知恵に学ぶ、「ムダ取り」改善術 ～「整理整頓しなさい！」と言う前に知りたい、 子供も大人も迷わない5Sの基本～** 東北能開大学秋田校　准教授　横山　雅紀　氏	**2F　207　多目的ホール** ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座11】 講話・演習	◆学習指導・就学前教育 **低学年向け運動遊びプログラム「MISPO！」** ミズノ株式会社　森下 聖二　氏	**1F　532　体育館** ■運動に適した服装 ■運動に適した上履き ■筆記用具（感想用紙の記入があります）

4時限目　15:20～16:20（60分）		会場／携行品等
【研修講座12】 講話	●特別講座 **時を計る** 東北能開大学秋田校　校長　奥山　栄樹　氏	**2F　207　多目的ホール** ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座13】 講話	◆学習指導 **授業づくりの1・2・3～集団の中で一人一人を育てる授業～** 〔教育専門監〕釈迦内小学校　中嶋　恵　　比内中学校　花田しのぶ	**2F　224　教室** ■筆記用具（感想用紙の記入があります）
【研修講座14】 講話	□不登校支援 **スペース・イオおおだての取組 ～不登校ゼロを目指して～** スペース・イオおおだて　教諭　　虻川　由作　氏	**1F　108　会議室** ■筆記用具（感想用紙の記入があります）

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年７月２９日　　担当課（生涯学習課）

報　告　事　項	報　　告　　内　　容
大館市生涯学習推進協議会委員の委嘱について	大館市生涯学習推進協議会委員について、このたび、関係機関からの推薦により選出した委員に変更が生じたため、後任の委員を任命しましたので報告します。 なお、新任者の任期は前任者の残任期間とします。 ・任　期　　自　令和８年６月　１日 　　至　令和９年６月３０日

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年７月２９日　　担当課（生涯学習課）

<table>
<tr><th>報　告　事　項</th><th>報　　告　　内　　容</th></tr>
<tr><td>令和７年度大館市民文化会館の指定管理者業務に関する評価について</td><td>
大館市民文化会館指定管理者基本協定書第１４条に基づき、令和７年度大館市民文化会館の管理運営状況について評価を行いました。

１．評価方法
指定管理者から提出された「個別業務評価書」の内容、実施状況等について、実地検査及び関係職員へのヒアリングを実施し、総合的な評価をしました。

２．評価項目（個別業務評価）
（１）運営全般（９項目）
（２）基本的サービス（４項目）
（３）充実・推進を図るサービス（４項目）
（４）利用者満足度（３項目）

３．評価基準
Ａ　協定書、要求水準を上回る成果
Ｂ　おおむね協定書、要求水準どおりの成果
Ｃ　協定書、要求水準を下回り努力を要する
Ｄ　重大な不適切な事項があり改善を要する

４．評　　価
<table>
<tr><th>№</th><th>指定管理者自己評価</th><th>教育委員会評価</th></tr>
<tr><td>（１）</td><td>２項目Ａ、７項目Ｂ</td><td>２項目Ａ、７項目Ｂ</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td>１項目Ａ、３項目Ｂ</td><td>全てＢ</td></tr>
<tr><td>（３）</td><td>全てＢ</td><td>１項目Ａ、３項目Ｂ</td></tr>
<tr><td>（４）</td><td>１項目Ａ、２項目Ｂ</td><td>全てＢ</td></tr>
</table>
５．総合評価　「Ｂ」
７月１７日付けで、指定管理者である一般財団法人大館市文教振興事業団へ通知しました。

６．総　　括
令和７年度は、文化庁の採択を受けての仙台フィルハーモニー管弦楽団による学校公演をはじめ、大規模な主催・共催事業を実施するなどスムーズな運営が行われていました。
また、効率的な日常業務の遂行やサービスの向上に努めており、施設の維持管理・環境整備についても常日頃から職員や委託事業者が互いに情報を共有し合い、適切に管理されていました。
これらのことから、おおむね協定書及び要求水準の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われていたと判断します。
</td></tr>
</table>

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年７月２９日　　担当課（生涯学習課）

<table>
<tr><th>報　告　事　項</th><th>報　　告　　内　　容</th></tr>
<tr><td>令和７年度大館市立図書館サービスに関する評価について</td><td>
大館市立図書館指定管理者基本協定書第１４条及び図書館評価事務処理要領に基づき、令和７年度大館市立図書館サービスに関する自己評価書について、図書館協議会へその妥当性について諮問し、同協議会からの答申に基づき総合的な評価を行いました。

１．評価項目（１）運営全般に関する事項（９項目）
（２）基本的サービスに関する事項（４項目）
（３）サービスの充実及び向上に関する事項（７項目）

２．評価基準　Ｓ　計画等を大幅に上回る成果
Ａ　計画等を上回る成果
Ｂ　概ね計画等どおりの成果
Ｃ　計画等を下回り努力を要する
Ｄ　サービスそのものに問題が認められ改善を要する

３．評　　価
<table>
<tr><th>№</th><th>自己評価</th><th>図書館協議会評価</th></tr>
<tr><td>（１）</td><td>４項目Ａ、５項目Ｂ</td><td>１項目Ａ、８項目Ｂ</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td>１項目Ａ、３項目Ｂ</td><td>１項目Ａ、３項目Ｂ</td></tr>
<tr><td>（３）</td><td>２項目Ａ、５項目Ｂ</td><td>４項目Ａ、３項目Ｂ</td></tr>
</table>
４．総合評価　「Ａ」
６月１９日付けで、指定管理者である一般財団法人大館市文教振興事業団へ通知しました。

５．総　　括
猛暑や大雪、クマの出没等の影響もあり、来館者数は４館の合計で１２９，５４４人と、前年度と比較して５，３６９人の減となりました。
その上でＡ評価とした主な理由は、想定外の事態への対応に苦労したものの、歩みを止めることなく新規事業に取り組み、新たな利用者の獲得に努めたことや、希望する本がすぐ手元に届けられるようリクエストサービスや相互貸借サービスの利用を呼びかけ、利用者のニーズに迅速に対応することで読書推進を積極的に行っていることが挙げられます。
</td></tr>
</table>

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年７月２９日　　担当課（生涯学習課）

報　告　事　項	報　　告　　内　　容
大学公開講座の開催について	７月９日（木）、秋田看護福祉大学のキャンパスにおいて、第３０回大学公開講座を開催しました。 市民が専門分野の講義を受ける講座として平成７年度から実施されており、今年度１回目の講座は「一病息災　脳卒中との共存～不自由なく暮らし続けるために」をテーマに約５０人が受講し、脳卒中に関する知識を深めました。 講師の渡邉教授は、一病息災とは、無病の健康な人よりも１つくらい病気のある人の方が健康に気を配るので長生きできるという意味であり、年を重ねるごとに脳卒中の発症率は上がっていくが、一病息災の精神で生活習慣病と付き合っていくことが大事であると話され、熱心にメモを取る受講者の姿も見受けられました。 次回は１０月１８日（日）に、同キャンパスにおいて石川竹一教授による「世界の歴史から見えてくる【国際政治を動かす７つの要素】」を予定しており、昨年と同様に学校祭との同時開催となります。 また、９月２６日（土）には秋田職業能力開発短期大学校での公開講座も予定していますので、引き続き広報や公式ＬＩＮＥ、新聞掲載等で情報発信し、より多くの市民に受講していただけるよう努めます。  ７月９日（木）大学公開講座（秋田看護福祉大学）

教育長が教育委員会に報告する事項

令和８年７月２９日　　担当課（中央公民館）

報　告　事　項	報　　告　　内　　容
ラジオ体操会「みんな元気にラジオ体操ワンツー・ワンツー！」について	令和８年６月２８日（日）、比内体育館において、ラジオ体操会「みんな元気にラジオ体操ワンツー・ワンツー！」を開催しました。 本市は令和５年度に簡易保険加入者協会より「健康タウン構想の推進」支援自治体に指定され、以降５年間、市民の健康づくりに関する支援を受けることとなっております。本事業はその一環として実施しているもので、今回で４回目の開催となりました。 当日は、長木小・桂城小・西館小・比内中より児童・生徒６名がスタッフとして参加したほか、大館市ラジオ体操の会会員や会場周辺の住民など幅広い年代の市民１５０人が参加し、講師２名の指導の下、「ラジオ体操第１」を実施しました。 体の伸ばし方や、かかと・指先の向きなどについて、参加者が正しい体の動きを意識しやすいよう丁寧に教えてくださり、講師の一人が「間違った動き」の見本としてもう一人の講師と並んで体操した場面では、その動きの面白さに笑いが起こったほか、参加者が自分の動きを顧みて納得したような表情を見せるなど、工夫を凝らした指導が印象に残りました。 本事業は健康ポイント対象事業にも認定されており、参加者の健康意識の向上や、世代間交流の促進にもつながる有意義なイベントとなりました。



ラジオ体操第１を指導中の講師


参加者の様子

議　事　の　経　過	
	開会　午後３時３０分
教育長	ただ今より教育委員会会議を開催いたします。 はじめに会議録署名委員を指名します。本日の教育委員会会議の会議録署名委員については、私と小笠原委員にお願いします。 続いて前回会議録の承認に移ります。６月３０日開催分の会議録についていかがだったでしょうか。 （「異議なし」の声あり。） それでは承認とさせていただきます。 では、４の教育長の報告事項について説明をお願いします。
各課長	（「（１）大館市教職員「夏季研修会」及び「ＩＣＴ活用研修講座」について」 「（２）大館市生涯学習推進協議会委員の委嘱について」 「（３）令和７年度大館市民文化会館の指定管理者業務に関する評価について」 「（４）令和７年度大館市立図書館サービスに関する評価について」 「（５）大学公開講座の開催について 「（６）ラジオ体操会「みんな元気にラジオ体操ワンツー・ワンツー！」について」 を、資料により報告。）
教育長	委員の皆さまからご質問、ご意見等はございませんか。
委員	大館市民文化会館の指定管理者業務について、生涯学習課にお伺いします。 先ほどご説明いただいた基本的サービスの中で、会場の予約、利用手続きという項目がありました。これはインターネットで空き状況の確認や予約ができるようなシステムのことだと思いますが、今後の見通しについて何か指定管理者側から聞いていましたら、把握している範囲で結構ですので教えてください。
生涯学習課長	実は市全体としても窓口のそういうサービスをこれから進めていく方針なのですが、文化会館は予約をキャンセルした場合にキャンセル料などが発生するため、その辺りを整理する必要があると思われます。 したがって、市の進行状況を見ながら適切に対応できる方法を見つけることができれば、指定管理者側にも提案していく予定です。具体的な時期については現時点では明言できませんが、皆さんが利用しやすいような運営にしたいと思っております。
委員	分かりました。

教育長	指定管理業務の評価については話題になると思っていましたので、先にご意見等を伺いたいと思います。文化会館と図書館の評価について皆さんからほかに何かございませんか。
委員	図書館サービスに関する評価についてお伺いします。評価項目の中にあるレファレンスサービスとリクエストサービスについて、いずれも指定管理者と図書館協議会で評価が分かれているのが気になったのですが、これは具体的にどのようなサービスなのでしょうか。 また、例えば図書館協議会が評価Ｂとした理由として、何が問題だったのかも教えていただきたいのですが。
生涯学習課長	図書館協議会の評価については、諮問する際に一度説明を行い、私たちが退出してから評価が行われるため具体的な協議内容までは把握できておりませんが、指定管理者については、リクエストサービスと相互貸借サービスいずれも要望があった場合はまず購入できないかできる限り検討し、どうしても購入できないのであれば、その本を所有していて貸出し可能な図書館を探して、できるだけ早く貸出しできるよう努力しているとのことでしたので、恐らく迅速な対応という部分でA評価にしたと思われます。
委員	分かりました。ちなみにレファレンスサービスというのはどのようなサービスなのですか。レファレンス（参照）という言葉から、図書館に知りたいことを伝えると調べてもらえるようなサービスを想像しますが。
生涯学習課長	例えば「夏休みの宿題としてこういうテーマを考えているけれども、どの本を見たらいいのか分からない」というような相談に対して図書館の職員がアドバイスをすることで、調べ物のお手伝いをするサービスだと思われます。
教育長	そうですね。図書館が調べ物の相談を受けて、利用者が求める情報や資料を探すのを手伝う業務のようです。
委員	よく分かりました。３人子育てをしましたが、恥ずかしながらこういうサービスがあることを知らなかったので、利用すればよかったなと思います。
委員	同じく図書館サービスについてです。書籍も高騰していて大変ですが、図書館の役割は今後ますます重要になってくるのではないでしょうか。 評価の総括にもありましたが、クマの出没や大雪、猛暑などで本当に外出する人が減少している中で様々な工夫をされていると思います。 ただ、今お話に出てきた図書館の各種サービスについて、私も全然知らないものがたくさんありました。その辺りを図書館側から積極的に周知していくことが非常に大切になってくると思いますので、その点につきましても是非よろしくお願いします。

生涯学習課長	図書館に行くと、特に夏休み期間中は「お気軽にお声がけください」とか「こういう本をお探しではありませんか」のようなポップを司書の方が工夫して展示されていますが、サービスについての宣伝はあまりしていないのかもしれません。 もう少しその辺もいろいろと発信して、利用してもらえるよう周知できればと思います。
教育長	これは私の感想になりますが、もしかするとレファレンスサービスというものの捉え方に違いがあるから評価が分かれたのではないかと思いました。指定管理者側の「市内外から寄せられた様々なレファレンスに対して根気よく調査を行い、利用者に満足いただけるよう、丁寧なレファレンスに努めた。」という表現が気になったのです。 指定管理者側が捉えているレファレンスサービスと、図書館協議会が評価しようとしているレファレンスサービスに若干の食い違いを感じさせるような評価内容になっている気がします。 その辺の意識統一をしていく必要があるのかもしれないと感じました。 指定管理業務の評価についてほかにございますか。 よろしいようですので、それ以外の報告について何かございますか。
委員	先日、事業でほくしか鹿鳴ホールの会場をお借りしました。自社を含め市内の同業他社が数社集まって展示会を企画したのですが、市内中心部にあのような施設があり、商業的に使わせてもらえたということに感謝申し上げたいと思います。あるスタッフの方に話を聞くと、今回初めての試みであり、是非今後も利用してほしいということでした。ホールとホワイエ、展示室を存分に使わせていただいて、そういう意味で非常に利用しやすい施設だと実感しました。 指定管理施設として収益を上げるという面から考えると、今回のような貸出しも充分選択肢に入ってくると思いますので、是非考えていただけるといいなということで、参考までにお話しいたしました。
教育長	ほかにございますか。 よろしいようですので、議事に進みたいと思います。 今回は協議事項が２件ございます。それでは説明をお願いします。
各課長	（「協議第１３号　大館市招致外国青年の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」 「協議第１４号　令和８年度９月補正歳出予算要求の概要について」 を、資料により説明。）
教育長	委員の皆さまからご意見、ご質問等ございますか。

委員	歴史文化課のクマスプレー１０本について、正直な話１０本で足りるのか少し心配ではありますが、利用者の方にも貸出しをするというのは大変いい配慮だと思います。先日私も実際に草刈りをしてきたのですが、その際にクマの穴がある場所を案内していただいて、今年もクマの被害が出ているのだろうなと感じたところです。 今のところ事故がなくて本当によかったと思っていますが、芝谷地湿原辺りも非常に気になっておりますので、是非必要に応じて予算を組んでもらって、今後も事故のないようにお願いします。
歴史文化課長	ありがとうございます。現在歴史文化課ではクマスプレーを７本所有していまして、今回それに追加するということですが、クマスプレーも万能ではなく、私たちも猟銃で遠距離から弾を撃てるわけでもありませんので、あくまでも最終手段という位置づけで、クマに襲われそうになった際の緊急護身用と捉えております。 今回購入しようとしているものは噴射時間が６～７秒で、１２メートルくらい先まで噴射できますが、風向きや方向を見誤るとアウトですので、これを装備したからといってクマの被害を１００パーセント防げるとは考えていません。あくまでも装備の一つとしてという位置づけです。 なお、使用年数は平均的なものでおおむね４年程度ということですので、順次買い替えていく必要があります。国の交付金がいつまで続くか分かりませんが、買える時に買っておきたいと考えています。
教育長	ちなみに今シーズンのクマの出没状況は、実感としてどうですか。
歴史文化課長	実感としては昨年よりは少ないと感じています。秋田市や県南の方は多く出没しているようですが、歴史文化課が所管している長走風穴や芝谷地湿原に関しましては、昨年の方がもっと多かったというのが実際のところです。
委員	クマスプレーの具体的な運用方法についてですが、例えば長走風穴を見に来た方に１人１本貸出すといった方式と理解してよろしいでしょうか。
歴史文化課長	今こちらで想定しているのは、例えばガイドウォークなどのイベント開催時ですと参加者全員にお貸しするのは難しいと思いますので、複数人に装備してもらうとか、あるいは管理人にお声掛けいただいて希望者に貸出しするといった方式です。ただ、持ち帰られてしまうことも想定されるので、その辺りは厳しく管理しないといけないと思っています。 管理人がいない芝谷地湿原に関しましても、ガイドウォークなどのイベント開催時や、それから職員も週に１回はパトロールを実施してクマの痕跡がないか確認していますので、その際に携行するといった運用も考えています。
委員	例えば少年自然の家だと登山者にクマスプレーの貸出しをしていて、借りたい人は事務室まで来てくださいとありますので、恐らく同じような運用に

	なるのではと思うのですが、その管理方法が気になっていました。氏名などを記入して借りるような形になるのでしょうか。
歴史文化課長	そうですね。管理人がいる長走風穴館では貸出簿のようなものを作って、貸出し希望者には氏名や連絡先などを記入してもらい、返却時にも必ず管理人に声掛けをしてもらって確認するとか、そういった運用を考えています。
教育長	ほかにございますか。 予定されていた案件は全て終了しました。 この機会に皆さまからほかに何かございますか。
委員	７月１７日に開催されました、東北六県市町村教育委員会連合会の研修会に参加させていただき感謝申し上げます。今回の研修会は文科省からは教育課程企画室長の栗山氏、それからヘラルボニー代表取締役の松田氏のお二方が講師だったのですが、素晴らしいお話を聞かせていただきまして、本当に良かったと思っています。 はじめの演題は「次期学習指導要領に向けた検討状況」ということで、簡単に申しますと、文科省が考え始めていることは、教員が自由に使える時間を全体的に増やした上で、どうすれば子どもたちと今までよりも質の高い向き合い方ができるかということでした。 講演の冒頭では、そのような教育課程にした理由として、教師自身が考える力を持つ必要があり、それが子どもたちに必要なことだからであるということを話されていて、なぜ必要かというとそれは唯一民主的な社会を作るからだということもしっかり明言されていました。 それはまるで大館ではないかと少し感じた次第で、今まで私たちがやってきたふるさとキャリア教育も、ふるさとを明るくして、大切にして、帰ってくる子どもを増やそうというふうに捉えがちなのですが、実を言うと副次的なものとして、子どもたちが自分の頭で考えて、教員も、そして地域の大人たちも自分の頭で考えて、この地域をなんとかしなければいけないという意識が芽生えるような仕組みだったと思います。その点について、やはり大館は先進的な地域なのだということを再確認できる講演でもありました。 次が「異彩を、放て」という演題だったのですが、ヘラルボニーという会社は重度の障害を持った方々の絵や文字をデザインとして商品化する会社で、その人たちの色彩を盛岡から世界に発信し、障害に対する認識を変えることに一生懸命挑戦している方々のお話でした。 企業や教育の在り方を含め、非常に示唆に富んだお話で、本当にいい研修に参加させていただけたと感じた次第です。ありがとうございました。
教育長	次の学習指導要領における狙いの一つに、主体的・対話的で深い学びの「深い」というところに視点を当てようしている面があるということは痛切に感じました。 これまで言葉にはしていながら、そこに対する基準や程度などが曖昧なま

	まきたという点は反省として述べていたので、そこがこれから話題になってくるのだと思います。 　しかし、個人的にはその「深い」というのが本当にそれで深いなのか、それ以外の深いは無いのか、別の視点で深いを捉えることもできるだろうというふうに思いますので、そういったところでこれから議論が必要になるのかもしれません。
委員	私からもお礼を込めて、研修会について少しお話しします。 　次期学習指導要領のことについて教育長からもお話がありましたが、深い学びであるとか、この変化の多い社会で多様な子どもたちがいるのだけれども、誰一人取り残さないといったキーワードが出てきて、正にこれまで大館が進めてきた教育の理念と軌を一にするものだと確認できたのは非常に大きかったと思います。これからも大館の教育を自信と誇りを持って進めていいのだと後押しされたような気持ちでした。 　そのほかにも、教育課程の編成や時数のことなど、様々な新しい変化があるようですので、そういうことも含めて環境整備を進めるのであれば、行政の関わりというのはますます大きくなると思っています。 　今回の研修会も本当に勉強になりました。ありがとうございました。
教育長	ほかにございますか。 　では、次回の開催日程についてお願いします。
教育総務課長	（「来月の開催日程」について）
教育長	それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻　　午後４時３０分